

丈夫で長持ち その②

耐震実験

1995年1月17日阪神淡路大震災と同等の地震波860ガルで2回振動実験を行いました。その結果、スモリの真壁工法(銀我パネル)はわずか4cmのズレ(変形)でした。現在の住宅性能で最高等級である耐震等級3で実験の結果11.5cmのズレ(変形)が生じました。スモリの家は、耐震等級が最高等級3の家に比べて3倍の強さという驚異的な数値をはじき出しました。

スモリの家

一般の家
耐震等級 最高等級 3



スモリの家は
最高ランクの
住宅と比べ

4cmの
ずれでした!

約3倍
の強さでした

最高ランクの
住宅は
約11.5cm
のずれが
生じました



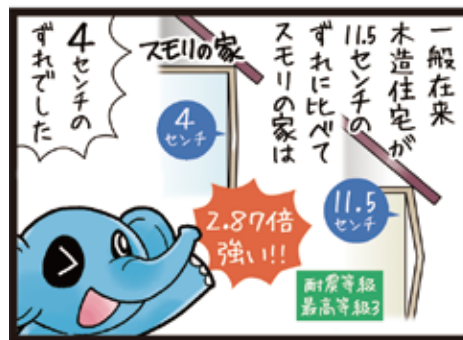
スローシャッターで撮影した加振中の様子。

この試験体は剛性が非常に高いのが特徴で、JMA神戸波でも層間変形角は72分の1にとどまった。JMA神戸波での加振は合計2回行われたが、剛性はほとんど低下しなかったという。

阪神・淡路大震災を
超える振動実験を
連続で行いました。

- 1.連続実験で強い構造を実証
- 2.実験後もすき間ができない事を実証
- 3.地震後も住み続けられる家を実証

耐震実験



社長の企業理念 2

お客様と職人さん
への感謝の気持ちを
忘れません



独立行政法人 土木研究所(茨城県つくば市)で公開実験